

# 進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	司法研究科
大項目	7 法曹に必要な資質・能力の養成
中項目	
小項目	7.0.1 法曹養成教育
要素	法曹に必要なマインドとスキルを養成する教育内容が、開設科目等の中で適切に計画され、適切に実施されていること。

## II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

### 【現状の説明】

#### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 外部評価システムを新設する。	→学外者による評価体制の構築。	C

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

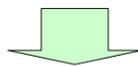
### 《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目 7.0.1	(現状説明) 法曹に必要なマインドとスキルを養成するために、専門職責任、民事ローヤリング I・II・III、エクスターンシップ、クリニックなどの授業が活用されており、市民参加による模擬依頼者を活用した授業も工夫している。
☆ その他	

### ◎効果が上がっている事項

#### 【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

☆ 小項目 7.0.1	
☆ その他	



#### 【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

☆ 小項目 7.0.1	
☆ その他	

### ◎改善すべき事項

#### 【点検・評価 (2)】改善すべき事項

☆ 小項目 7.0.1	
☆ その他	



#### 【次年度に向けた方策(2)】改善方策

☆ 小項目 7.0.1	
☆ その他	

## ◎自由記述

## 【点検・評価】&amp;【次年度に向けた方策】

★ その他  
(自由記述)

## Ⅲ. 学内第三者評価

＜評価推進委員会からの評価＞（実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室）

- 外部評価システムの導入により学外者による評価体制が整備されていることは重要で、これが十全に利用されることが望まれます。
- 自己点検・評価は、本学の状況や考え方を社会にわかり易く説明する役割もあります。また、認証評価につなげることも視野に置く必要があります。加えて、本シートを見ればある程度のことわかる必要があります。そのためにも、2008年度の認証評価報告書を参考にされて、全小項目についてももう少し詳しく現状説明されることを希望します。
- 2008年度の認証評価の報告書で認証評価機関から指摘されている課題について、検討は進んでいるでしょうか。改善すべき事項への記述は不要でしょうか。
- 模擬法律事務所についての進捗状況はどうでしょうか。
- 現状説明で課題とされた事項は、改善すべき事項に記述をお願いします。

## Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ なし